

ありがとう上幌延駅・安牛駅今昔フォトコンテスト

“今”を未来へ・上幌延駅 準大賞



〈別れの準備 : あんどう 様〉

令和3年3月に廃止された「上幌延駅」と「安牛駅」のフォトコンテスト応募作品の主なものを連載でご紹介しています。

「“今”を未来へ・上幌延駅」コースで準大賞となった作品は、あんどう様の「別れの準備」です。

上幌延駅と安牛駅の最終営業日（3/12）の前週末に開催された2駅をライトアップするイベント「エキアカリ」の様子を収めた作品です。

駅としての役割が残り1週間となった上幌延駅で、最後まで頑張り灯りをとめず駅舎とエキアカリに惜別の情を感じる美しい作品です。

わが家のエンジェル



槇野の知彰くん

令和3年2月24日生（字間寒別お父さん 雄一さん お母さん 優子さん）

わが家の第一子、知彰です。最近はお座りをしてひとり遊びをしたり、たまにハイハイで一歩前進して様子を伺っています。周りに気かけられる穏やかな子に育ってね。

新規採用職員の紹介



こばやし ゆな
小林 優菜

【所属】 幌延町国民健康保険診療所
【出身地】 豊富町
【趣味】 海外ドラマを見ること
【好きな食べ物】 お寿司
はじめまして。診療所に勤めることになりました、小林優菜です。幌延町の看護師として貢献できるように頑張ります。よろしくお願いたします。

九月定例俳句会作品

幌延ほおずき俳句会

枝豆の茹でかた上手母の味
枝豆を肴に今宵酒を飲む
枝豆に一礼をして挽き始む
枝豆の箆いっぱいの大喰らい
枝豆の不揃いもわが畑のもの

横山 貞雄
小玉 利治
田中 順子
富樫とも子
田中 徹男

ほろのべの裏窓

すっかりと冬の気温になりつつある10月。皆さまいかがお過ごしでしょうか。白い息の出る朝晩の冷え込みにはストーブが欠かせませんね。そして幌延町では10月17日にさっそく初雪が降りました。毎年見ている雪ですが、初雪を見るのはなんだか気分がいいものです。

さて、今月号の裏窓は2020年11月号の裏窓で紹介した、長寿のお祝い表記に使う漢字の由来についての第2弾になります。

還暦（61歳）・七十二支が一巡して、もとの暦に還ることに由来。

緑寿（66歳）・66を緑と見立てた「緑緑寿」の語呂合わせを簡略化したもの。

古希（古稀・70歳）・中国の詩人、杜甫の詩の一節「人生七十古来稀なり」に由来。

半寿（81歳）半は「八」「十」「一」に分けることができ「八十二」とみることができると。

大還暦（120歳）・2回目の還暦。また、大還暦以降も「天寿（250歳）」「王寿（1001歳）」「甲寿（2001歳）」「妻寿（9002歳）」など、続きがあるそうです。

今回紹介したものの以外にもお祝いの表記はまだまだあるので、気になった方は調べてみてください。

広報へのご意見、ご要望をお寄せください

住民生活課生活グループ

電話 5-1112 / 告知端末機 5-8812



広報ほろのべの窓 11月号

令和3年11月
発行 / 幌延町

企画・編集 / 住民生活課生活グループ 印刷 / 株式会社須田製版
幌延町ホームページアドレス / <https://www.town.horonobe.hokkaido.jp>